

安全に関する改善事例

記入日: 2005年 10月 21日
 (所属会社) (氏名) (連絡先電話番号)

記入者:

ダム名	所在地県名	発注者	型式	ダム諸元		
				堤高(m)	堤頂長(m)	堤体積(千m3)
森吉山ダム	秋田県	東北地方整備局	R	89.9	786	5850
設計・施工区分	工種	想定される事故の種類	想定される事故の要因	危険作業の種類	設計変更の有無	
施工	フィルダム洪水吐	重機事故	人的・設備	運搬	有: (無)	
改善の概要: 当ダムのバッチャープラントは本体上流にあり、洪水吐減勢部のコンクリート運搬は本体盛立面を通行して行われる。重ダンプトラック走路をコンクリート運搬車(10tダンプトラックベース)が走行するため、重心の高いベッセル搭載型では走行安定性が悪い。このため、通常のダンプトラックから安全にコンクリートをバケットに受け渡すため、定置式ベルコンホッパを設置					特許の有無	
					(有): 無	
メリット: コンクリート運搬に通常の10tダンプトラックを使用することにより悪路での走行安定性が向上する。また、コンクリート受渡しも安全に行える。			デメリット: 定置式ベルコンホッパの設備費が必要。ホッパの移動に手間がかかる。			

改善後 (略図または写真)



「メリット」

- ・通常の10tダンプトラックからコンクリートバケットに安全にコンクリートを受渡できる。
- ・コンクリートバケット着床位置が一定であるため、ダンプトラック誘導も一定となり、誘導員が定位置で誘導できる。
- ・ベルコンを使用したコンクリート移動であるため、コンクリートの分離が少ない。